

共同利用・共同研究拠点及び 大学共同利用機関法人の 実績データ可視化手法に関する 調査分析及びダッシュボード構築業務

委託業務成果報告書

2025.3.21
KPMGコンサルティング

本報告書は、文部科学省の令和6年度大学研究基盤強化委託事業による委託業務として、KPMGコンサルティング株式会社が実施した令和6年度「共同利用・共同研究拠点及び大学共同利用機関法人の実績データ可視化手法に関する調査分析及びダッシュボード構築業務」の成果を取りまとめたものです。

Contents

Page

1. 業務概要	4
1.1 業務目的と実施概要	5
2. 先行事例調査	6
2.1 先行事例の収集	7
2.2 先行事例の分析	11

1. 業務概要

(1) 業務目的と実施概要

■ 本業務の目的

文部科学省では、科学技術・学術審議会学術分科会研究環境基盤部会の報告を踏まえ、平成20年7月に、学校教育法施行規則を改正し、国公立大学を通じたシステムとして、新たに文部科学大臣による共同利用・共同研究拠点の認定制度を設けている。また、国公立大学法人法に基づき、我が国の学術研究の向上と均衡ある発展を図るため、大学共同利用機関法人が設置されている。

本事業では、共同利用・共同研究拠点及び大学共同利用機関法人より提出される実績報告書や研究活動等状況調査票等のデータ（以下「実績データ」という。）の集約・可視化に関する先行事例調査及び効果的分析手法の検討を行い、実績データの分析・可視化を実施することで、各大学等における特徴を把握・分析し、今後の施策等につなげることを目的とする。

■ 実施内容

1. 先行事例調査

- 実績データの集約・可視化について大学等の先行事例に関する調査を実施

2. 先行事例調査

2.1 先行事例の収集

(1) 調査の実施方法と調査対象

■ 調査の実施方法等

- ✓ 調査期間：2024年12月4日～2025年1月9日
- ✓ 調査方法：デスクトップ調査、KPMGコンサルティングリレーション等を活用した情報収集
- ✓ 調査対象範囲：国内外の大学、政府機関

■ 調査対象

- ✓ プレ調査
 - 国内
 - 国立大学：教育大学を除く国立大学について網羅的に調査（2024年12月4日時点の公表事例）
 - 私立大学、公立大学：IR活動等によりダッシュボードを作成・公表している事例を広く探索（2024年12月4日時点の公表事例）
 - 政府機関・自治体：Power BIによるダッシュボード作成事例、本件に応用可能と考えられる可視化手法を有する事例を探索
 - 海外
 - 大学：米英を中心にダッシュボードを作成・公表している事例を広く探索
 - 政府機関：各国の教育省など大学政策を管轄する省庁の事例を広く探索、加えて、米英の大学の評価関連のダッシュボードを調査
- ✓ 先行事例調査
 - プレ調査結果をもとに文部科学省が指定した国内外の5大学及び海外政府機関を調査
 - 国内大学：北海道大学、九州大学、広島大学、上智大学
 - 海外大学：The University of Tennessee
 - 海外政府機関：UK Research and Innovation (UKRI)

(1) プレ調査項目の設定

先行事例調査対象を決定する前のプレ調査の調査項目として、基本情報、本件との関連性、項目・分析手法、その他の観点から整理を行った。

	調査項目	大学等		政府機関	
		国内	海外	国内	海外
基本情報	ダッシュボード名称	○	○	○	○
	作成元等	○	○	○	○
	URL	○	○	○	○
	概要	○	○	○	○
本件との 関連性	Power BI	○	○	○	○
	教員数・教員比率	○	※ 1	※ 2	※ 3
	研究者受入人数	○		※ 2	
	論文数	○	※ 1	※ 2	
	科研費	○	-	※ 2	
	民間との共同研究（金額・件数）	○	※ 1	※ 2	
	上記以外の共同利用・共同研究関連実績	○		※ 2	
	受託研究（金額・件数）	○		※ 2	
項目・ 分析手法	グルーピング・ベンチマーキング	○	○	※ 2	※ 3
	財務情報	○	○	※ 2	
	その他の研究関連の可視化項目	○	○	※ 2	
	可視化項目ごとのグラフ種別など	○	○	※ 2	
その他	UIについての特記事項	○	○	○	○
	その他特記事項	○	○	○	○

※ 1・・・海外大学においては、研究費関連の考え方が国によっては我が国と異なることが想定されるため、項目については少し幅広に設定して調査

※ 2・・・e-CSTIIについては政府機関であるものの取り扱い内容の類似性を鑑みて大学等と同じ項目を調査、その他政府機関はUI等の観点での参考事例を調査

※ 3・・・海外政府については、各国の政策により我が国と異なる観点で大学関連データを集計していることが想定されるため、詳細な項目は調査を行いながら設定

(1) 先行事例調査対象の選定

プレ調査の結果から、文部科学省が指定した国内外の5大学及び海外政府機関を先行事例調査対象とした。

国内大学

24事例 → 4事例を選定

＜関連度高＞ 九州大学、広島大学、北海道大学、上智大学

- ✓ 本件と関連度の高い可視化項目の事例を有する
- ✓ 共共拠点を有する
- ✓ 私立大学事例のうち情報量が最も多い（上智大学）

海外大学

35事例 → 1事例を選定

＜関連度高＞ The University of Tennessee

- ✓ Sponsored Researchについての可視化事例が多い
- ✓ 複数キャンパスの実績をそれぞれ可視化しており、大共法人の可視化と親和性があると想定される
- ✓ 教員数、財務情報に関する項目も充実しているので、網羅的に参考とできる

海外政府機関

11事例 → 1事例を選定

＜関連度高＞ REF2021（英国）

- ✓ 英国の大学評価制度。大学の研究力評価について多数の事例あり。

2.2 先行事例の分析

(1) 可視化想定項目と事例の対応表

以下に、可視化想定項目と北海道大学のダッシュボードにおける対応事例を示す。

凡例 ○：事例有、△一部事例有、－：事例無

	可視化項目	北海道大学	九州大学	上智大学	広島大学	UT	REF
①	所属教員数及び所属教員比率	○	○	○	○	○	○
②	研究者の受入人数（学外所属別及び区分別）	－	○	－	－	－	－
③	共同利用・共同研究の採択状況	－	△	－	－	－	－
④	共同利用・共同研究を活用して発表された論文数及び分野別論文比率	△	△	△	△	－	－
⑤	科学研究費等の採択状況（採択金額及び採択件数）	○	○	○	○	－	－
⑥	民間との共同研究実施状況（金額及び件数）	○	○	△	○	○	○
⑦	受託研究実施状況（金額及び件数）	○	－	△	○	－	－
⑧	財務情報（決算額等）	○	○	○	－	○	－
⑨	国際交流状況	○	○	○	○	－	－
⑩	学生受入状況（大学院生受入数、留学生受入数）	○	○	○	○	－	－
⑪	シンポジウム等の実施状況	－	－	－	－	－	－
⑫	施設・設備の利用状況	○	－	○	○	－	－
⑬	資料の利用・提供・整備状況	○	－	○	○	－	－
⑭	研究用データ等の作成・公開状況	－	－	－	－	－	－